

事業報告（2023年度）

バイオプロジェクト株式会社

<http://www.bioproject.co.jp/>（会社全体）

<http://seasonsview.net/>（開発事業部）

1. 設立の目的

人間の健康・生活の向上、疾病防除・治癒、そして動・植物の成長促進、疾病防除を目的として、機能微生物の探索と実用化を行う。微生物は主に、ウイルスの不活化と動・植物の免疫増進機能を保持する株を対象とする。

2006年 2月：宮崎大学発ベンチャー企業バイオプロジェクト有限会社を設立
（同年5月に、新会社法施行により株式会社へ変更）

同 10月：鶏インフルエンザウイルスを不活化する機能微生物を発表

2009年 6月：蜜蜂の増殖促進、ウイルス等疾病防除のための機能微生物の発表と製品販売開始

2012年 1月：日本における機能微生物の特許権承認

2013年 8月：（国立研究開発法人）動物衛生研究所において、機能微生物によるコロナウイルスの不活化と動物免疫活性増進作用を証明

2014年 1月：台湾における機能微生物の特許権承認

同 2月：競走馬のウイルス疾病防除に適した微生物製品の販売開始。

北海道3生産牧場において採用

同 5月：健康食品「ベーシックウイン」「ビーブルミエ」を発売

2018年 11月：植物（野菜、果実）の疾病防除、生長促進微生物の肥料登録

2023年 7月：養蜂用疾病防除、増殖促進微生物「スーパービーII」を販売

2. 共同事業及び共同研究の推進

○（一部上場）食品会社より水産養殖用機能微生物を販売

○（一社）日本養蜂協会より、ミツバチの疾病防除、成長促進微生物を販売。約70%の協会員が使用

○農林水産省、（一社）日本養蜂協会の委託研究により、蜜源植物レンゲの繁殖促進に適した機能微生物を研究、レンゲの繁殖・害虫防除効果を実証、製品販売

○宮崎県畜産試験場において、機能微生物による養豚飼育を行い、従来の抗生物質混合飼料よりも高い体重増加、および飼料効率向上の結果を得る

3. 機能微生物の特徴

- インフルエンザウイルス、コロナウイルス、花粉症ウイルス等の防除
 - 喘息、副鼻腔炎などの改善
 - 下痢症ウイルス疾病の防除
 - 動物、植物の疾病防除、成長促進
- その他

4. 特許

国内取得済 2 件、国外取得済 1 件（内容：機能微生物によるウイルスの不活化と動植物の成長促進効果）

国内公開中 1 件（内容：花粉症の早期改善、インフルエンザ、ノロウイルス下痢症の予防、治癒など）

